

## 強度行動障がい者支援のための中核的人材養成研修 『OJTプログラム札幌』参加者募集

発達障害児者地域生活支援モデル事業では、令和5年度より、強度行動障がいのある方への支援をテーマに取り組み、支援体制の構築を目指します。今年度はその要となる中核的人材を養成する研修『OJTプログラム札幌』を実施いたします。強度行動障がいのある方を支援している、障がい福祉サービス事業所の皆様の参加をお待ちしております。

※ OJTとは、実践を通じて支援の仕方を身につけることです

募集期間	令和5年6月30日～7月30日まで（受講決定日 7月 31日）
募集対象	強度行動障がいのある方（主に成人期）を支援している札幌市内の障がい福祉サービス事業所（※1）に所属し、事業所においてリーダー的立場（※2）の方。 ※1 施設入所、共同生活援助（グループホーム）、生活介護、行動援護・居宅介護、就労継続支援B型事業所等 ※2 北海道強度行動障がい支援者養成研修、または北海道行動援護従業者養成研修を受講済で、サービス管理責任者、サービス提供責任者等チームの指導者的立場
研修場所	前半研修：札幌市自閉症者自立支援センターゆい 住所：札幌市東区東雁来12条4丁目1-5 後半研修：募集対象者の所属事業所
参加費	無料
募集内容	裏面参照
募集方法	別添申込書に必要事項を記載し、下記問い合わせ先へメールで送付してください。

研修コース（2つのコースがあります。ご希望のコースにお申込みください）

I コース	<b>【前半研修】</b> 札幌市自閉症者自立支援センターゆいでの専門施設実習 全日程（※下記プログラム参照）に参加可能 所属機関の施設長、管理者等の方が一部プログラム【8/8（火）午前、8/29（火）】への受講を必須とする。また、関連のある相談支援事業所相談員の受講も推奨。 <b>【後半研修】</b> 本プログラム講師の所属事業所への派遣研修（広域的支援人材派遣研修） ①の前期研修終了後、後期研修として4回の講師派遣研修を受講できる方。 9/5（火）、9/12（火）、9/19（火）、9/26（火）（日程調整可） ※ 前半研修と後半研修はセットでの受講となります。 <b>【募集定員】</b> 3名（3事業所） ※申込多数の場合、選考により決定いたします。
II コース	札幌市自閉症者自立支援センターゆいでの専門施設研修 対象コースIIの日程（※下記プログラム参照）に参加可能 <b>【募集定員】</b> 6名 ※申込多数の場合、選考により決定いたします

## 専門施設研修プログラム

日付	時間	内容	対象コース	
			I	II
8/8 (火)	9:30~10:15	施設見学 (札幌市自閉症者自立支援センターゆい) ※管理者等も参加	●	●
	10:30~12:00	強度行動障がい者を理解する【講義】 ※管理者等も参加	●	●
	13:00~14:30	アセスメント①【講義】	●	●
	14:40~16:00	アセスメント①【演習】	●	
8/17 (木)	9:00~12:00	アセスメント②【演習】	●	
	13:00~13:45	支援手順書の作成①【講義】	●	●
	13:55~16:00	支援手順書の作成①【演習】	●	
	13:55~15:25	氷山モデルの作成①【講義】		●
8/22 (火)	9:00~12:00	支援手順書の作成②【演習】	●	
	13:00~14:30	氷山モデルの作成①【講義】	●	
	14:40~16:00	氷山モデルの作成①【演習】	●	
8/29 (火)	9:00~12:00	氷山モデルの作成②【演習】 ※管理者等も参加	●	
	13:00~16:00	施設での利用者虐待の現状と課題 ※管理者等も参加	●	●
		事業所の抱える課題について 【意見交換】 ※管理者等も参加	●	●

お問い合わせ・お申込み

〒007-0032 札幌市東区東雁来12条4丁目1-5

社会福祉法人はるにれの里 札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる  
担当 牧田・石田TEL 080-3694-1950 Mail [ke@harunire.or.jp](mailto:ke@harunire.or.jp)

## 第1日目 オリエンテーション

---

時 間	内 容	場 所
9:00	開始	ゆい体育館
	札幌市よりごあいさつ	
	主催者よりごあいさつ	
9:10	オリエンテーション	
	自己紹介、留意事項等の説明、同意書の作成	
9:30	終了	

札幌市より 障がい福祉課 発達障がい担当係長 東 如恵 様

主催者より 社会福祉法人 はるにれの里（本研修スーパーヴァイザー）加藤 潔

## 第1日目 施設見学（札幌市自閉症者自立支援センターゆい）

---

★実習のポイント

- ・施設の概要
  - ・合理的配慮（一人一人への配慮）
- 

★実習の予定

時 間	内 容	場 所
9：30	挨拶 施設の概要説明	ゆい体育館
9：50	施設見学 合理的配慮の説明（一人一人への配慮）	ゆい2号館、生活介護

## 第1日目 強度行動障がい者を理解する【講義】

---

### ★実習のポイント

- ・社会モデルからネグレクトされた（重度）知的障害者
  - ・（重度）知的障害とは、社会的に作られたものか、生物学的なものとの相互作用か
  - ・（重度）知的障害者の「わからなさ」と痛みの関係、そしてわたしたちとの連続性
- 

### ★実習の予定

時 間	内 容	場 所
10：30	自閉症や強度行動障害を絡めながら、障害学の視点から重度知的障害について考察する（適宜ディスカッションを交えた参加型講義）。	体育館
12：00	終了	

## 第1日目 アセスメント①【講義】

### ★実習のポイント

- ・ 根拠に基づいた支援を行うためには、目的に応じた情報収集（アセスメント）が必要
- ・ チームで統一した支援を実施するには、集めた情報を共有することが大切
- ・ 強度行動障がいのある方の支援では、自閉症の障がい特性のアセスメントが重要
- ・ 今回は特にコミュニケーションにスポットを当てたアセスメントについて学ぶ

### ★実習の予定

時 間	内 容	場 所
13：00	法定研修ふりかえり（講義） ・ 強度行動障がいとは ・ 障がい特性の理解 ・ 目で見てわかる支援 ・ 根拠に基づいた支援	
14：00	休憩	
14：15	自閉症の障がい特性のアセスメント（講義） ・ コミュニケーションとは ・ コミュニケーションのアセスメント	
14：45	休憩	

## 第1日目 アセスメント①【演習】

### ★実習のポイント

- ・根拠に基づいた支援を行うためには、目的に応じた情報収集（アセスメント）が必要
- ・チームで統一した支援を実施するには、集めた情報を共有することが大切
- ・強度行動障がいのある方の支援では、自閉症の障がい特性のアセスメントが重要
- ・今回は特にコミュニケーションにスポットを当てたアセスメントについて学ぶ

### ★実習の予定

時 間	内 容	場 所
15：00	自閉症の障がい特性のアセスメント（演習） ・コミュニケーションのアセスメント ・自閉症の障がい特性のアセスメント ・強みと弱みの特性に整理する	
15：50	まとめ	
16：00	終了	

### ★宿題

- ・ご自身の事業所の利用者さんの特性まとめシートを作成する
- ・特性まとめシートを事業所内で共有するためにやってみたいことを発表します

## 第2日目 アセスメント②【講義】

### ★実習のポイント

- ・根拠に基づいた支援を行うためには、目的に応じた情報収集が必要
- ・チームで統一した支援を実施するには、集めた情報を共有することが大切
- ・強度行動障がいのある方への支援で、特に重要となる余暇にスポットを当てたアセスメントについて学びます

### ★実習の予定

時 間	内 容	場 所
9:00	宿題発表 ディスカッション ・ご自身の事業所の利用者さんの特性まとめシート ・特性まとめシートを事業所内で共有するためにやってみたいこと	
9:20	余暇の大切さとアセスメント方法 ・行動の整理 ・余暇とは ・余暇のアセスメントのポイント	
9:50	休憩	

## 第2日目 アセスメント②【演習】

### ★実習のポイント

- ・ 根拠に基づいた支援を行うためには、目的に応じた情報収集が必要
- ・ チームで統一した支援を実施するには、集めた情報を共有することが大切
- ・ 強度行動障がいのある方への支援で、特に重要となる余暇にスポットを当てたアセスメントについて学びます

### ★実習の予定

時 間	内 容	場 所
10：05	余暇のアセスメント（演習） ・ 現状のアセスメント ・ 余暇を広げるアセスメント	
11：35	休憩	
11：50	まとめ	
12：00	終了	

### ★宿題

- ・ ご自身の事業所の利用者さんの余暇・モチベーションシートを作成する
- ・ 余暇・モチベーションシートを事業所内で共有するためにやってみたいことを発表します

## 第 2 日目 支援手順書の作成①【講義】

---

### ★実習のポイント

- ・ 支援手順書の作成について、根拠から整理をしてことを学ぶ。
- ・ 支援手順書は記録と分析を繰り返し、支援の質の向上を目指すことを学ぶ。

### ★実習の予定

時 間	内 容	場 所
13：00	支援手順書の書き方について チーム支援について 記録のとり方と PDCA サイクルについて	
13：45	終了	

## 第2日目 支援手順書の作成①【演習】

### ★実習のポイント

- ・作成されたある場面の支援手順書を確認し、実際の支援の様子を観察して記録をとる
- ・支援手順書に記録をすることで、支援の違いを見つけ、修正と改善を考える。

### ★実習の予定

時 間	内 容	場 所
14:00	ゆい利用者の支援手順書の確認と記録について ・根拠から支援手順書が作られている事の確認 ・ある一場面の支援手順書と実際の様子を見比べる ・違いを見つけて記録をつける	
14:40	支援の記録と修正 ・ゆいスタッフとのディスカッション ・修正した支援手順書でシミュレーションを行う ・支援をよりよいものにしていくためには何が必要かを考える	
15:50	まとめ、宿題の確認	
16:00	終了	

### ★宿題

支援手順書作成のために、ご自身で担当するケース（あるいは事業所で契約しているケース）の方の一場面を考えておく。工程が分けやすい場面であるとよい。

### 第3日目 支援手順書の作成②【演習】

---

★実習のポイント

- ・実際に関わっているケースのある一場面を抜き取り、支援手順書を作成する。
- ・支援手順書を作成することで、支援方法の統一ができることを学ぶ。

★実習の予定

時 間	内 容	場 所
9：00	オリエンテーション 宿題を発表する 支援手順書を作成する（途中休憩あり） 書き方についてのフィードバックを行う	
10：45	休憩（15分）	
11：00	発表会	
11：15	感想とディスカッション	
11：45	まとめ	
11：50	終了	

### 第3日目 冰山モデルの作成① 【講義】

---

★実習のポイント

- ・本人が表す行動について、その行動の背景を考え、行動が起きている理由を整理する「冰山モデル」の考え方を学ぶ。
- ・行動へのアプローチを考えるため、冰山モデルシートを使って「本人の障がい特性」と「環境・状況」から整理する方法を学ぶ。

---

★実習の予定

時 間	内 容	場 所
13:00	講義 ・冰山モデルと行動整理シートの説明 ・架空事例を基にした作成例の紹介 ・作成するにあたり大切なポイントの確認	
13:35	休憩（10分）	
13:45	ワーク：冰山モデルの作成 ・事例をもとに、実際に冰山モデルを作成する ・まとめ	
14:30	終了	

### 第3日目 冰山モデルの作成① 【演習】

---

#### ★実習のポイント

- ・本人が表す行動について、その行動の背景を考え、行動が起きている理由を整理する「冰山モデル」の考え方を学ぶ。
  - ・行動へのアプローチを考えるため、冰山モデルシートを使って「本人の障がい特性」と「環境・状況」から整理する方法を学ぶ。
- 

#### ★実習の予定

時 間	内 容	場 所
14:40	対象となる利用者の説明、活動の様子の見学（20分） 行動整理シートの説明（5分） 課題となる行動の状況、ゆい職員の考えを確認（5分） 質疑応答（5分）	
15:10	休憩（10分）	
15:20	グループワークで冰山モデルを作成（20分） 作成した冰山モデルの発表（10分） ゆいの職員から感想（5分） ゆいの支援の説明、今後ゆいで取り組みそうなこと（5分）	
16:00	終了	

#### ★宿題

ご自身の事業所の利用者さんのターゲット行動を具体的に一つ絞る  
→アセスメント、支援手順書で考えてきた同じ利用者さんのケースで考えてください。

翌日にディスカッション実施

## 第4日目 冰山モデルの作成②【演習】

### ★実習のポイント

- ・本人が表す行動について、その行動の背景を考え、行動が起きている理由を整理する「冰山モデル」の考え方を学びます。
- ・行動へのアプローチを考えるため、冰山モデルシートを使って「本人の障がい特性」と「環境・状況」から整理する方法を学びます。

### ★実習の予定

時 間	内 容	場 所
9:00	<ul style="list-style-type: none"><li>●講義 冰山モデル作成のポイント振り返り</li> <li>●グループワーク きょうちゃんさんケースの宿題と行動整理シートの発表 特性の確認 冰山モデルの作成 作成した冰山モデルに関する感想など</li></ul>	
10:30	休憩（10分）	
10:40	<ul style="list-style-type: none"><li>●グループワーク ひなたさんケースの宿題と行動整理シートの発表 特性の確認 冰山モデルの作成 作成した冰山モデルに関する感想など</li> <li>●まとめ</li></ul>	
12:00	終了	

## 第4日目 講義 「事業所での利用者虐待の現状と課題」

---

### ★講義のポイント

- ・虐待の現状と制度等について概要を復習します
  - ・これまで起きた虐待事件から課題点を探ります
  - ・強度行動障がい支援における虐待リスクを押さえ、予防のためにできることを考えます
- 

### ★講義の予定

時 間	内 容	場 所
13:00	講義開始	ゆい体育館
13:50	講義終了	
	休憩（10分）	

## 第4日目 意見交換 「事業所や地域が抱える課題について」

### ★実習のポイント

- ・強度行動障がいの状態像にある方々を支えていくために、事業所や地域にはどんな課題があるのか、そしてその課題解決のための一歩を踏み出すにはどうすればいいのかを話し合う。
- ・自分ができる小さな一歩を確認するのがねらい。大きなことは小さな一歩から始まるので。

### ★実習の予定

時 間	内 容	場 所
14:00	説明	ゆい体育館
14:10	支援力・組織力・地域力という観点から意見交換する 全体で意見交換していく予定　ホワイトボードに記録	
14:50	まとめ	

☆物事には「マクロ」の視点と「ミクロ」の視点があります。

\* 地域や国全体の動きを整えていく「マクロ」の視点

\* 目の前の利用者さんのことを考えていく「ミクロ」の視点

どちらも大切な両軸ですが、ここでは「ミクロ」の視点で考えましょう。

自分ができる小さな一歩を確認するのがこの時間のねらいです。大きなことは小さな一歩から始まるので。

☆強度行動障がいの状態像にある方々を支えていくために、事業所や地域にはどんな課題があるのか、そしてその課題解決のための一歩を踏み出すにはどうすればいいのかを話し合っていきます。観点は三つ。

\* 支援力：自分の支援スキルを上げるための課題と方策

\* 組織力：事業所全体のチーム力を上げるための課題と方策

\* 地域力：地域全体の受け入れを上げるための課題と方策

### ☆意見交換の進め方

受講者は支援力について

管理者は組織力について

相談担当者は地域力について

\* それぞれ思うところをあげます。まずは課題。

\* その後互いに質問や意見を言い合っ

\* 最後に課題解決のために「自分はこれをする」というのを高らかに宣言。